

市長からのメッセージ

魚沼市では、1月23日に立ち上げた「魚沼市大雪警戒本部」を、2月2日正午をもって「魚沼市大雪災害対策本部」へ移行いたしました。あわせて、国の「災害救助法」の適用を受け、全庁を挙げて対策に取り組んでおります。

市民の皆さまの命と暮らしを守るため、市はあらゆる手段を講じてまいります。ここで、改めていくつかの大切なお願いと、ご注意いただきたい点をお伝えいたします。

1. 雪下ろし等の作業は、決して「無理」をしないでください

連日の作業で疲れがたまっている今こそ、事故が起きやすくなっています。「今日やらなければ」と焦らず、どうかご自身の体調を最優先してください。

また、作業を行う際は、命綱・ヘルメットを着用し、必ず2人以上で行ってください。これは、皆さまご自身とご家族を守るための、絶対の約束事です。

2. 限りある資源と除雪作業へのご理解をお願いします

地下水位の低下により、消雪パイプが十分に機能しない箇所が多く出ています。機械除雪も追いつかず、ご不便をおかけしておりますが、現場では不眠不休で道路の確保にあたっています。

厳しい寒さの中で作業を続ける作業員の皆さまを、地域が一体となって支えていただきますようお願い申し上げます。

3. ルール遵守が地域の安全につながります

一台の路上駐車、また一度の無理な排雪が、地域全体の除雪を止め、救急車など緊急車両の通行の妨げになる場合があります。

この危機を乗り越えるため、今一度、ルールを守るという「助け合い」をお願いいたします。

4. 不安を抱え込まず、声を掛け合ってください

長い雪との闘いで、不安や焦りを感じている方も多いのではないのでしょうか。どうか決して一人で抱え込まないでください。お隣やご近所で「大丈夫か」と声を掛け合う、その一言が大きな支えになります。

各集落の区長さまをはじめ、民生・児童委員の皆さま、スクールガードの皆さま、そして除雪を請け負う事業者の皆さまには、大変なご苦労をおかけします。市と連携を密にし、この難局を乗り越えるべく、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「これくらいなら大丈夫」という慣れや油断を捨て、まずはご自身の安全を第一にお考えください。

魚沼市は、市民の皆さまの命を何よりも優先し、対策に取り組んでまいります。

魚沼市長 内田 幹夫